



# 概念 AppTemplate

NetApp  
July 19, 2022

# 目次

概念 .....	1
テンプレートのビルディングブロック .....	1


# 概念

## テンプレートのビルディングブロック

アクション間で値を渡す（ボリューム名など）、アクションを相互に接続する条件付き分岐（新しいボリュームでバックアップを有効にする）、およびテンプレートを使用する際のリソースのカスタマイズに役立つテンプレートを構築する場合に使用できる機能があります。

### 特殊なテンプレートコントロール

テンプレートの作成を開始する前に、テンプレート内のパラメータの値を事前に入力するときに設定できるいくつかの特別なオプションについて理解しておく必要があります。



#### 【編集可能】チェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、ストレージ管理者は、テンプレートで入力した値よりも優先されます。ストレージ管理者は値を提案しますが、リソースの作成時に値をカスタマイズできます。

オフにした場合、ユーザーは値を変更できず、管理者がリソースを展開するときにテンプレート内のハードコードされた値が常に使用されます。

#### ドリフトチェックボックス

このチェックボックスをオンにすると、テンプレートを使用してリソースを作成するときに、Cloud Manager がパラメータに対して入力したハードコーディングされた値を監視します。ドリフトレポートを実行すると、ドリフトで構成されたどのフィールドがテンプレート設定に適合しなくなったかを確認できます。

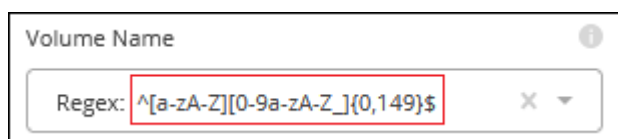
オフにすると、リソースが作成された後で値を任意の値に変更できます。



ドリフト機能を使用するには、テンプレートで一部のパラメータのドリフトを定義した後で、テンプレートのドリフト機能を有効にする必要があります。これは、テンプレートを作成する最後のステップです。ドリフトは、パラメータに対して有効になっていても、テンプレートで有効になっていない場合は機能しません。

#### フィールドで正規表現（**regex**）を使用する

テンプレートには、管理者がフィールドに入力できる値を定義するための正規表現を入力できるフィールドがいくつかあります。たとえば、「ボリューム名」や「共有名」などです。



たとえば、ボリューム名の正規表現として「`^[a-zA-Z][0-9aa-zA-Za-z_]{0,149}$`」と入力すると、「`_The name`」はアルファベットで始まる必要があります。使用できる文字は、数字、アルファベット、またはアンダースコアのみで、150文字以下である必要があります。

## テンプレートアクション間で値を渡す

テンプレートには、前のアクションの情報を使用して、将来のアクションでフィールドにデータを入力する機能があります。たとえば、クラウドバックアップ機能を有効にするボリュームの名前を定義する際に、Create Cloud Volumes ONTAP アクションで、ボリューム名として入力したストレージ管理者の値を使用するようにバックアップアクションを設定できます。

AppTemplate サービスで使用できる情報には、次の 3 種類があります。

- 入力値 - 以前のテンプレートアクションでストレージ管理者がフィールドに入力した実際の値です。
- 出力値 - これは、前のテンプレートアクションからリソースを作成したあとに Cloud Manager によって生成される値です。
- 独自の値を入力してください - これは入力した値であり、テンプレートの前のアクションからはアクセスされません。

たとえば、ボリュームでコンプライアンススキャンを有効にするには、Cloud Data Sense サービスで、ストレージ管理者が入力したボリューム名（入力値）と、Cloud Manager がボリュームを作成したときに生成する「ボリューム UUID」（出力値）の両方が必要です。

次の図は、テンプレートのクラウドデータセンサアクションセクションでこの情報を入力する方法を示しています。

**Activate Cloud Data Sense on Volume**

Action Definition

**Details**

**Volume Name** ⓘ ☐ Editable ☐ Drift

Get output value from action × ▾

Create Volume in On-Premises ONTAP × ▾

Volume Name × ▾

**Volume UUID** ⓘ ☐ Editable ☐ Drift

Get output value from action × ▾

Create Volume in On-Premises ONTAP × ▾

uuid

**Get the volume name:**

From the value the storage admin entered...

In the earlier action used to create the volume...

in the "Volume Name" field.

**Get the volume UUID:**

From the value Cloud Manager generates...

In the earlier action used to create the volume...

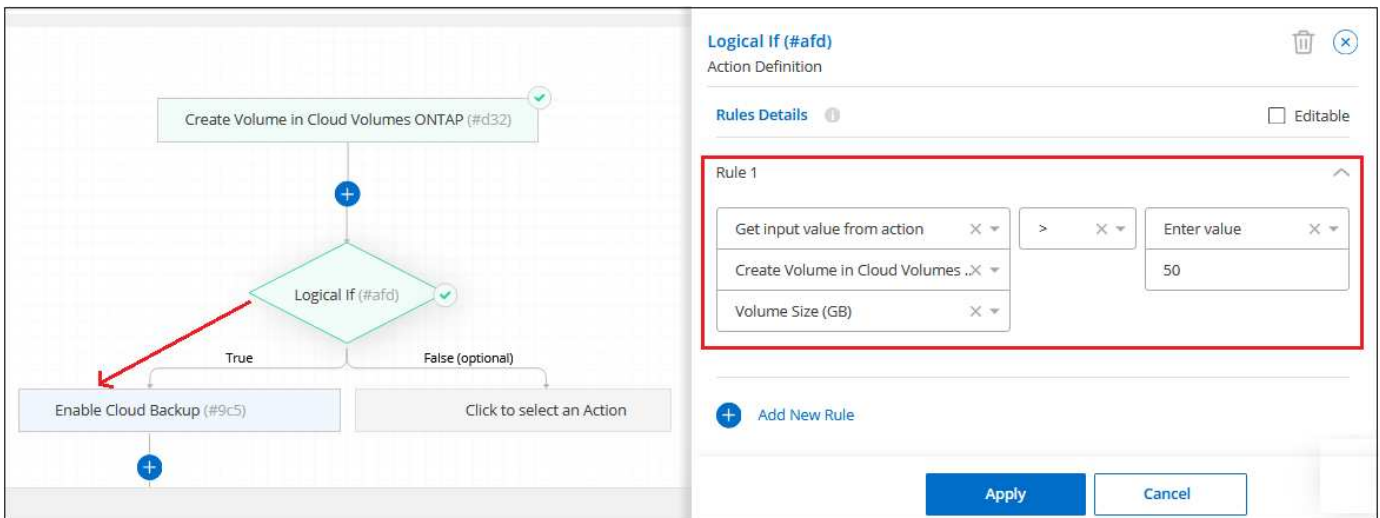
in the "uuid" field.

条件を使用して、ロジックステートメントに基づいて異なるアクションを実行します

条件は、テンプレートに対して、ストレージ管理者がテンプレートを実行したときに条件が true であるか false であるかに応じて、異なる操作を実行するように指示します。条件を追加するには、\* 論理 IF \* アクションを選択します。



たとえば、ボリュームの容量が 50GB を超える場合、そのボリュームで Cloud Backup を有効にするようにガイドラインを適用できます。ボリュームの容量が小さい場合、Cloud Backup は有効になりません。これは、次のようにテンプレートに実装できます。



条件は次の 2 つの部分で構成されます

- ルール - チェックする項目が true または false のいずれかであることを示します。
- AND / OR ステートメント - 複数のルールを使用して、追加のアクションを追加するかどうかをさらに細かく指定できます。

ルールは、次の 3 つの部分で構成されます。

- ソースフィールド \* - 比較する値を取得する場所。
- Get input value from action : 以前のテンプレートアクションのフィールドにストレージ管理者が入力した実際の値。
- Get output value from action - 以前のテンプレートアクションからリソースを作成したあとに生成された Cloud Manager の値。
- 値を入力 - これは入力した値であり、テンプレートの前のアクションからはアクセスされません。既存のボリュームなど、すでに存在するリソースの値を指定できます。
- 演算子 \* - 比較に使用される演算子。オプションは \* 等号、\* 等しくない \*、\* より大きい \*、\* より小さい \*、\* より大きい \*、\* より大きいまたは等しい \*、\* より小さいまたは等しい \* です。
- フィールド値 \* - 比較する実際の値。オプションは、\_Source フィールド \_ のオプションと同じです。

AND / OR ステートメントを使用すると、複数のルールが True と評価されているか False であるかに基づいて、テンプレートを実行するときに条件付きでアクションを追加できます。\* および \* では、すべてのルールが true または false である必要があり、\* または \* では、いずれか 1 つのルールのみが true または false である必要があります。

ルールで AND ステートメントと OR ステートメントの両方を使用する場合、評価プロセスは標準的な数学的順序に従います。例：

- [ ルール 1 ] または [ ルール 2 ] および [ ルール 3 ]

このステートメントは、< ルール 1 > または ( < ルール 2 > および < ルール 3 > ) の順に評価されます。

## 著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

## 商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp、Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。